
みやま市 DX 推進計画
～みんなでするばい DX～

令和6年 3 月



みやま市

MIYAMA CITY

「豊か」「便利」「快適」なみやま市を目指して

私たちの生活は、スマートフォンやタブレットなどの情報通信機器の普及、光ファイバー等の高度情報通信ネットワークの整備など、デジタル技術の発達により大きく変わりました。近年では、防災や感染症対策などの様々な社会課題を解決するために積極的にデジタル技術が活用されており、日常生活に欠かせない身近なものとなっています。

今後、技術の進歩はさらに加速することが予想され、国は「自治体 DX 推進計画」、福岡県は「福岡県 DX 戦略」を策定し、取組を進めています。住民に身近な行政を担う市町村においても、遅れることなく、自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)に取り組み、行政サービスの質を向上していくことが求められています。

これらの状況を鑑み、この度、「みやま市 DX 推進計画」を策定いたしました。本市では、これまで、SNS やホームページでの情報発信・収集の強化、業務の効率化などに取り組んできました。また、今年度より「デジタルを活用した市の魅力発信事業」として、メタバースを活用し、みやま市の観光資源や文化財などの魅力を市内外に広く発信する取組も始めています。今後は、現在の取組をさらに推し進めるとともに、公共施設のオンライン予約や利用料のキャッシュレス決済、市が実施する各種講座のデジタル化、マイナンバーカードの市民サービスへの活用など、計画に掲げた新たな取組に注力していく所存です。

デジタル技術は、デジタル化そのものを目的とするものではなく、時間や場所の制約を超え、社会のしくみを変革し、私たちの生活をより豊かにする「手段」です。日常生活や地域における様々な課題の解決にあたっては、デジタル技術の活用が不可欠です。DX の推進により、「豊か」「快適」「便利」なみやま市の実現を目指します。

令和 6 年 3 月

みやま市長 松嶋 盛人

デジタル・トランスフォーメーション(DX)とは：

Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略。情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることを意味する。
読み方：ディーエックス※英語圏では「Transformation」の「Trans」の部分を「X」と略することが一般的であるため、「DT」ではなく「DX」と略されている。

目次

1. はじめに.....	1
(ア) DXとは.....	1
(イ) 背景や目的	3
(ウ) みやま市の状況と課題.....	3
2. デジタル化の動向	5
(ア) 国の動向	5
(イ) 県の動向	7
3. 本計画の位置づけ	8
4. スケジュール.....	9
5. 計画推進の原則	9
6. 市内の推進体制.....	10
7. ビジョンとコンセプト.....	11
(ア) ビジョン	11
(イ) コンセプト.....	12
8. 主な施策	13
(ア) 豊かにするばいDX	13
(イ) 快適にするばいDX	14
(ウ) 便利にするばいDX	15
9. 取組内容.....	16
(ア) 豊かにするばいDX	16
取組① スマート農業.....	16
取組② 商工業のデジタル化支援	17
取組③ デジタルを活用した観光資源の魅力発信	18
取組④ 教育環境のデジタル化	19
取組⑤ 市立図書館のデジタル化	20
取組⑥ デジタルを活用した文化の継承	21
(イ) 快適にするばいDX	22
取組① 脱炭素社会の推進	22
取組② 防災の強靱化	23
取組③ 警防、救急救命の強靱化	24
取組④ ニーズにあった公共交通の推進.....	25
取組⑤ 都市基盤の維持にデジタル活用.....	26
取組⑥ デジタルデバイド対策.....	27
取組⑦ 福祉／介護サービスと医療の充実.....	28

取組⑧	e スポーツの活用.....	29
(ウ)	便利にするばい DX.....	30
取組①	窓口改革(書かない、待たない、行かない).....	30
取組②	早く分かりやすく正確に届く情報発信.....	31
取組③	マイナンバーカードの活用.....	32
取組④	デジタル技術のフル活用による業務の高品質化.....	33
取組⑤	情報システムの標準化・共通化.....	34
取組⑥	持続可能な DX 推進体制の構築.....	35
取組⑦	セキュリティ対策の徹底.....	36
取組⑧	行政のキャッシュレス推進.....	37
10.	KPI.....	38
付録	39
	用語集.....	39

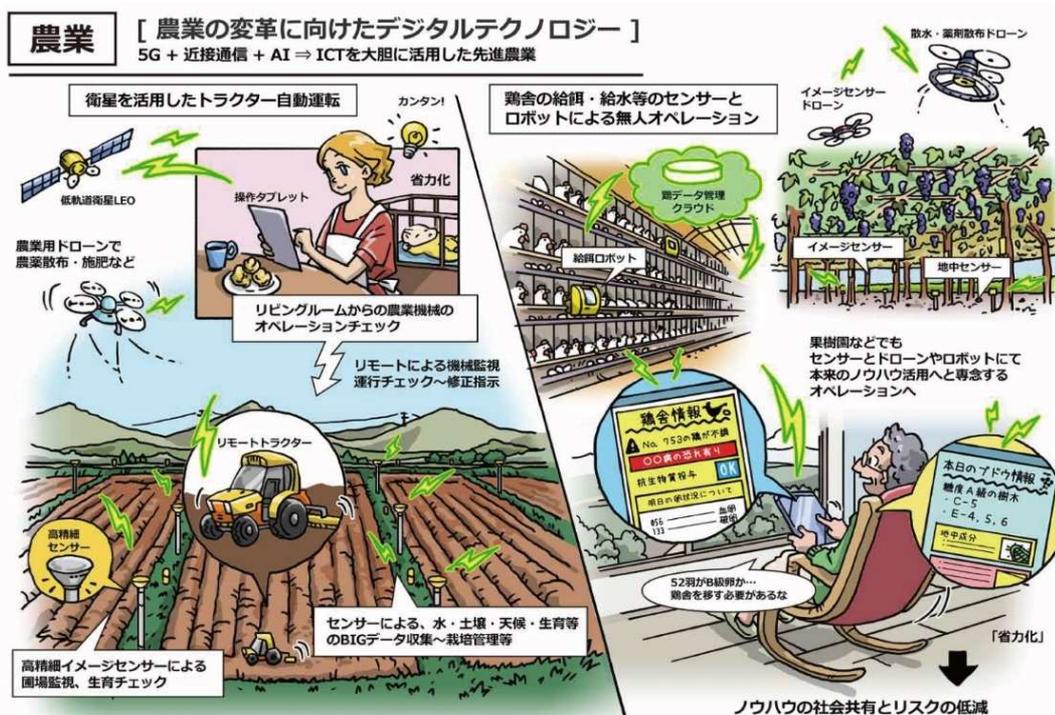
1. はじめに

(ア) DXとは

DXとは、デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)の略で、情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることを意味します。紙などのアナログ情報や業務の流れを情報技術に置き換えることをデジタル化と言います。デジタル化では、これまで単体で動作していた機器などが連携するため、それまで実現できなかった新たな価値を創出することが可能となります。

下記 2 つのイラストは、DX の例です。

<農業 | 農業の変革に向けたデジタルテクノロジー>

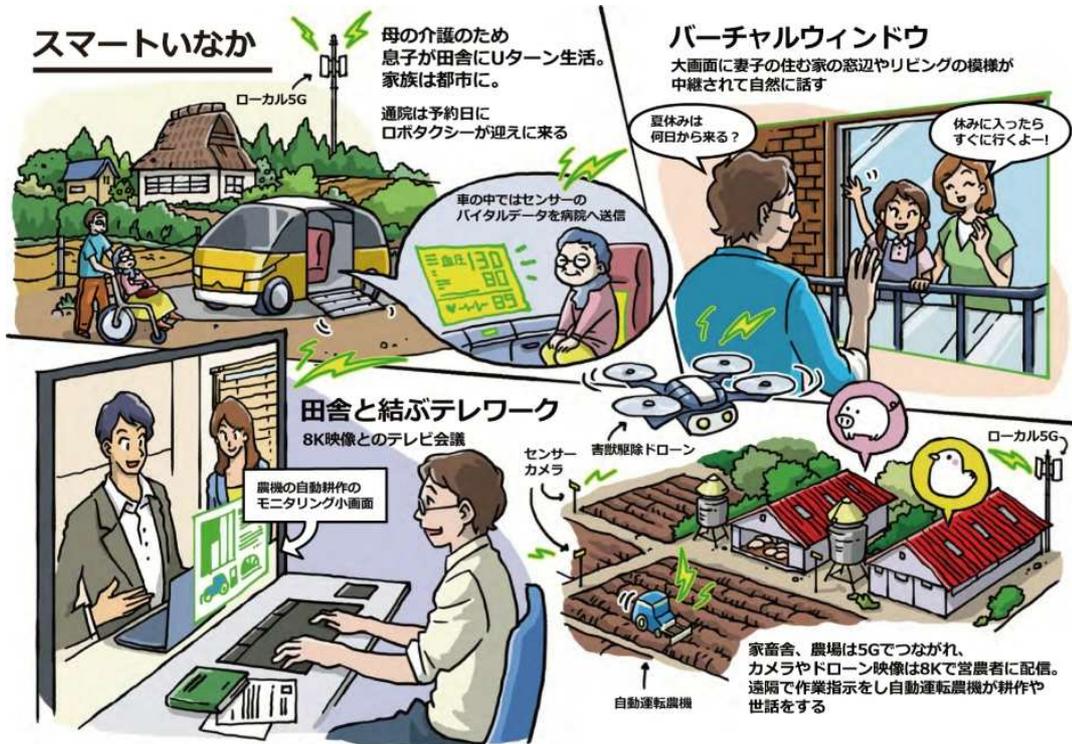


出典:総務省 5G イメージイラスト 農業

【ポイント】

- ✓ ドローンやGPSと連携したトラクター、ロボット等で作業を自動化
- ✓ センサーで水や土壌成分など圃場を常時監視
状況に応じて自動で水巻き、場合によってはアラートを農家へ通知
- ✓ 画像解析で生育状況を監視

<スマートいなか>



出典:総務省 5G イメージイラスト 産業・働き方

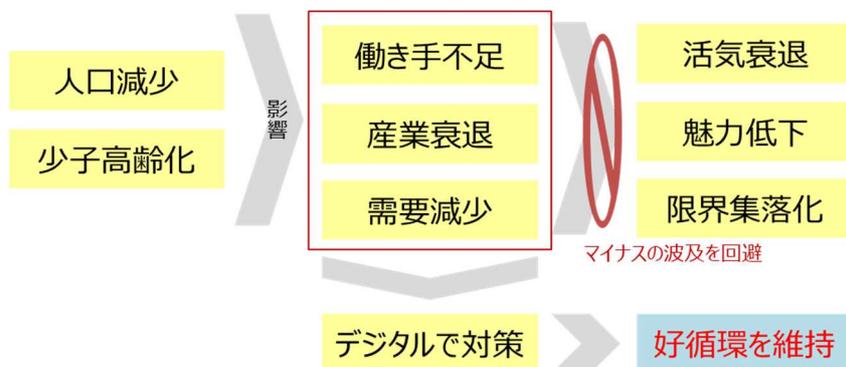
【ポイント】

- ✓ 誰でも安全・安心に目的地へ移動することが可能
- ✓ 孤独感の解消
- ✓ 農家の働き手不足の解消

(イ) 背景や目的

令和 2 年 12 月、政府において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど様々な課題が明らかとなったことから、デジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、言わば社会全体の DX が求められています。



(ウ) みやま市の状況と課題

① 地理

市の地形は、山地及び沖積低地で、河川や水路が点在しています。気候は、年平均 16.6℃と比較的暖かく、夏は南南西、冬は北北西から流れる風は年間を通して比較的穏やかで安定しています。しかし、梅雨期にはしばしば 300mm を越す強い雨が降り、また、台風の影響を受けやすい地域でもあることから、大雨や台風、高潮による災害の危険性が予測されます。防災と被害の最小化のため、デジタル技術を活用した対策が求められています。

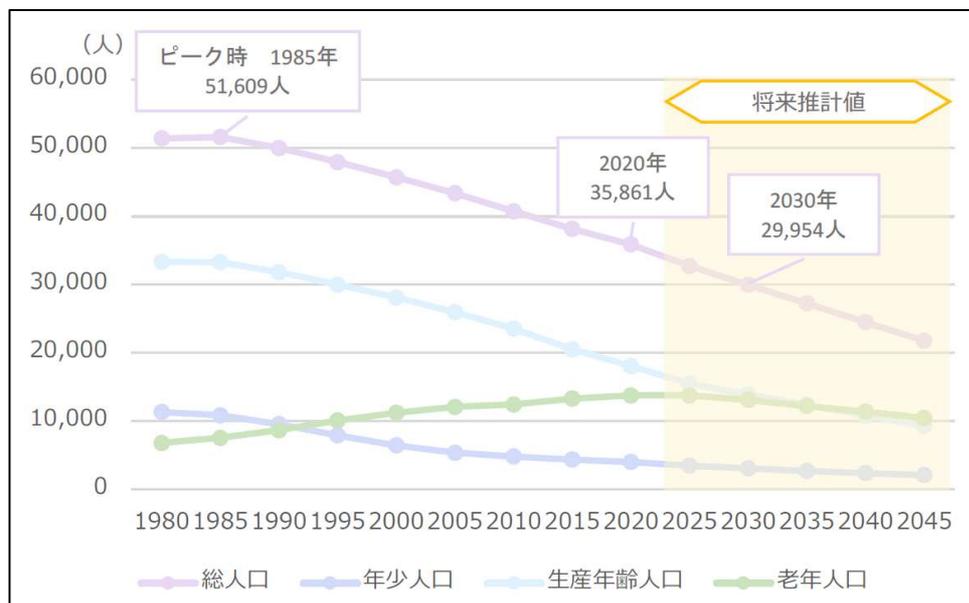
② 観光商工／伝統文化

本市は、天然樟脳や和蠟燭、きじ車、花火など全国的にも希少な伝統産業や、国指定重要無形民俗文化財である幸若舞などの伝統芸能、四季折々を楽しめる九州オルレみやま・清水山コースなど、様々な魅力あるコンテンツを有しています。本市ならではの魅力を市内外の多くの人

に知ってもらい、シビックプライドの形成や経済の発展につなげる手段として、デジタル技術の活用が期待されます。

③ 人口減少・少子高齢化

本市では、少子高齢化により人口減少が進み、働き手の不足や需要の減少が生じています。今後も減少が進むことが予測され、地域経済の衰退、魅力の低下などへつながることが懸念されます。これらの地域課題に対して、仕事の効率化・省力化や、市の魅力の周知による関係人口の増加など、デジタル技術を活用した対策が必要です。



グラフ 人口推移

④ 行政の効率化

社会情勢やライフスタイルの変化により、行政ニーズは複雑・多様化しています。市民が安心して暮らせるよう、サービスを維持し利便性を向上させるには、デジタル技術による視点を取り入れた市民サービスと業務の効率化が必要です。

⑤ 市独自の取組

「ゼロカーボンシティみやま」として、太陽光発電によるエネルギー施策、生ごみを焼却せず活用する資源循環などに取り組んでいます。また、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、ワンヘルスの理念に基づくまちづくりを推進し、「ワンヘルスのまちみやま」を目指しています。普及啓発や各施策の実施において、デジタル技術の活用が必要です。

2. デジタル化の動向

(ア) 国の動向

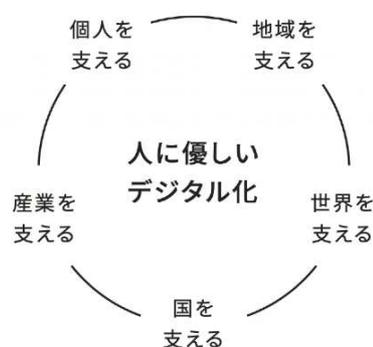
① デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針

デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(令和2年12月25日閣議決定)では、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」というビジョンが掲げられました。デジタル社会形成の基本原則も定められ、広く国民の意見が反映されるよう検討を行っていきとされています。

新型コロナウイルス対応においては、国、地方公共団体のデジタル化の遅れや人材不足、不十分なシステム連携に伴う行政の非効率、煩雑な手続や給付の遅れなど住民サービスの低下、社会全体におけるデジタル化の遅れなど様々な課題が顕在化しました。これらの課題に的確に対応し、デジタル化を強力に進めるため、施策の策定に係る方針等を定めるIT基本法の全面的な見直しを行い、デジタル社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進する新たな司令塔として令和3年9月にデジタル庁が発足しました。

② デジタル社会の実現に向けた重点計画

デジタル・ガバメント実行計画(令和4年6月7日改版)では、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」で定めるビジョンの実現のため施策が定められました。国民生活の利便性を向上させ、官民の業務を効率化し、データを最大限活用しながら、安全・安心を前提とした「人に優しいデジタル化」の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記しています。



③ 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画は令和2年12月25日に閣議決定され、現在、第2.2版まで更新されています。自治体DX推進計画とは、デジタル・ガバメント実行計画における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化し、デジタル社会の構築に向けた取組を策定した計画です。体制の構築や人材の育成・確保、自治体個別の施策を着実に推進するための計画策定

の必要性など、自治体がDXの推進で準備すべき内容や支援策についても示されました。

④ デジタル田園都市国家構想の基本方針と総合戦略

デジタル田園都市国家構想とは、「心豊かな暮らし」(Well-Being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現していく構想です。地域の豊かさをそのままに、都市と同じ又は違った利便性と魅力を備えた、魅力溢れる新たな地域づくりを掲げています。具体的には、「暮らし」や「産業」などの領域で、デジタルの力で新たなサービスや共助のビジネスモデルを生み出しながら、デジタルの恩恵を地域の皆様に届けていくことを目指す構想です。この構想より、デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定)とデジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)が公開されました。デジタルの力を活用した地方の社会課題解決とデジタル実装の基礎条件整備がコンセプトとして掲げられ、対策推進のための方向性や具体的な施策が示されました。



(イ) 県の動向

福岡県では、令和4年3月に「福岡県DX戦略」が策定されました。誰もがデジタル化の恩恵を受け、誰もが快適かつ安全な生活を送れるよう、様々な分野のDX人材の育成を行うことと、デジタル化への対応に当たってはこれまでの男女の固定的な性別役割分担意識や性差に関する無意識の思い込みを強める方向に進むことがないよう、ジェンダーなど多様な視点を持って、更なる市町村との連携のもと、以下の社会を目指すこととされています。

<目指す姿(福岡県)>

- ① デジタル技術の浸透により、幸せに暮らせる社会
- ② デジタル技術による地域産業の持続的発展を実現できる社会
- ③ デジタル技術を用いて活躍できる社会
- ④ デジタルの利便性を実感できる社会

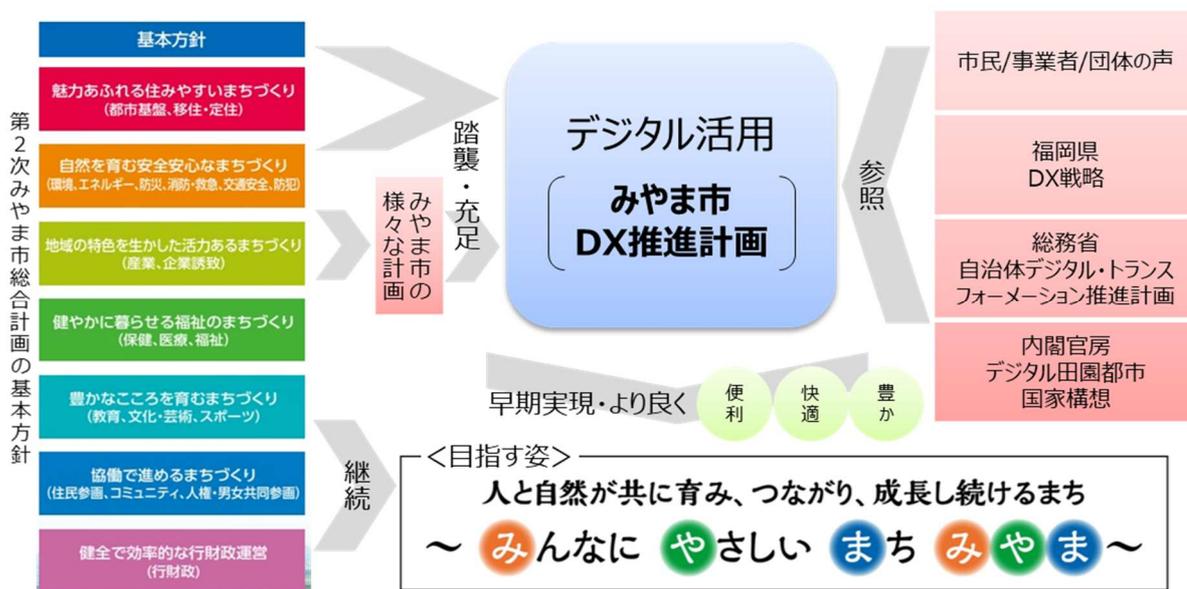


3. 本計画の位置づけ

本計画は、「第2次みやま市総合計画」及び後述する国や県が主導するデジタル化の動向の内容を踏まえて策定しています。「第2次みやま市総合計画」で定める本市の将来像の実現をDXにより加速し、成果の最大化を図っていきます。国や県が主導するデジタル化については、みやま市に潜在化するリスクや課題へ効果をもたらす方針として捉え、効果的な施策の実施へ繋げていきます。

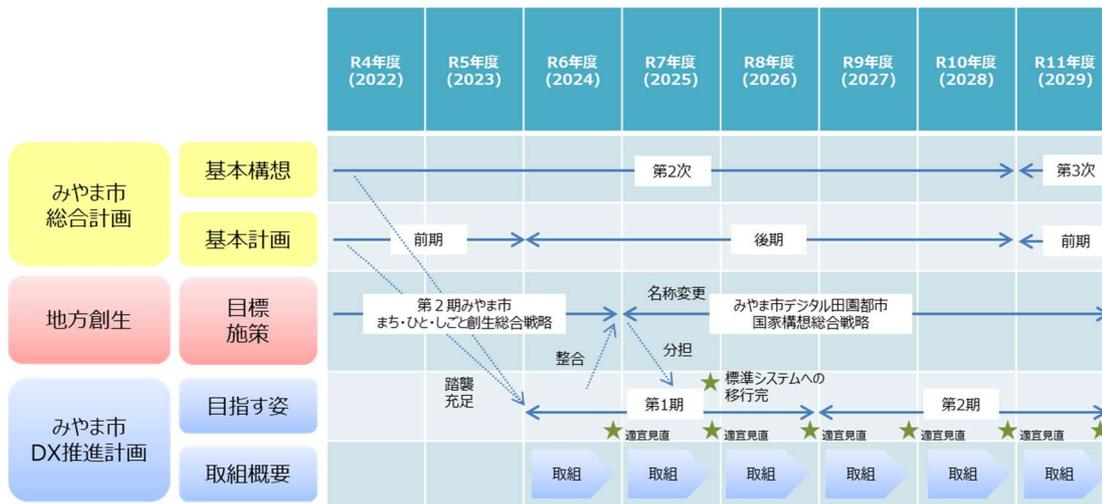
<本計画と関連する様々な計画一覧>

- ✓ 第2次みやま市総合計画(みやま市 令和元年8月)
- ✓ 第2期みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(みやま市 令和2年3月)
- ✓ 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画
(総務省 令和2年12月、令和5年11月第2.1版公開)
- ✓ デジタル田園都市国家構想基本方針(内閣官房 令和4年6月)
- ✓ デジタル田園都市国家構想総合戦略(内閣官房 令和4年12月)
- ✓ 福岡県DX戦略(福岡県 令和4年3月)



4. スケジュール

本計画は、令和6年度から令和8年度の3年間を対象期間と定めます。



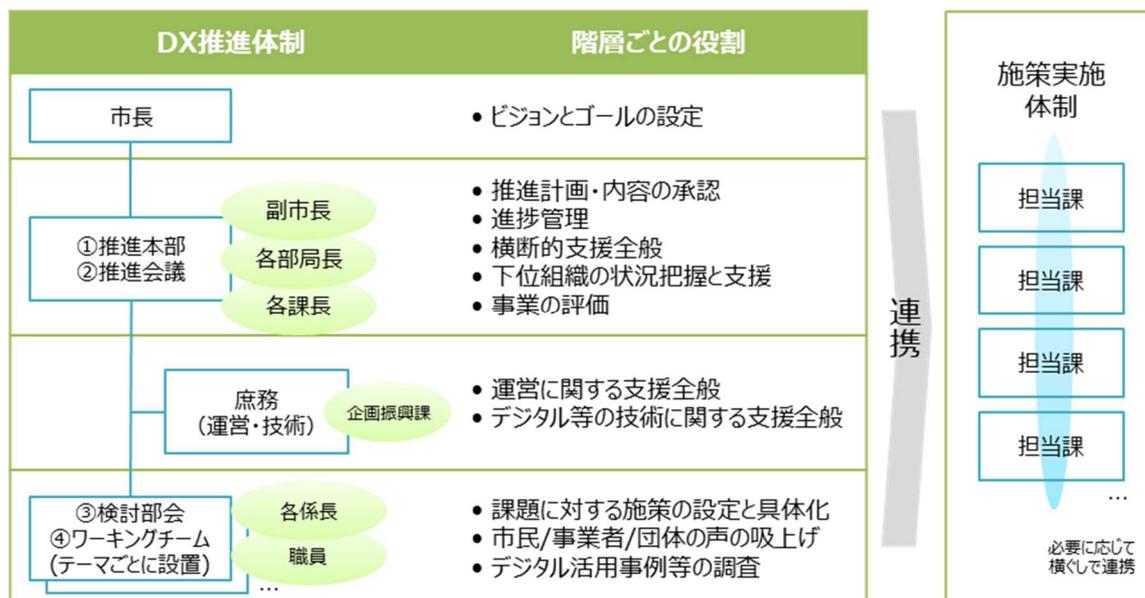
5. 計画推進の原則

本計画は、下記5点を原則として推進します。デジタル技術の進化や社会情勢の変化が加速している現在では、実行のスピードや短期間での効果検証が重要です。よって、原則をもとに、進化や変化に柔軟に対応しながら推進します。

- 1 スモールスタート：リスクが少ない推進
- 2 歩み寄り：組織や立場を超えて歩み寄って支えあう
- 3 チャレンジ：失敗は成功の基、信念をもった挑戦
- 4 継続：経験値を蓄積し次に生かす
- 5 PDCA：取組結果を検証し必要に応じて調整

6. 庁内の推進体制

DX 推進体制は、市長をトップに役職ごとにグループ化した階層構造とし、庁内の意思統一を実現します。推進本部は、推進計画・内容の承認、事業の評価を行います。中間に位置する推進会議と検討部会は、各種調整を行い、円滑な推進のため支援全般を行います。各担当はワーキングチームに属し、各種テーマに関する施策の具体化に携わり、庁内全体のボトムアップを醸成します。

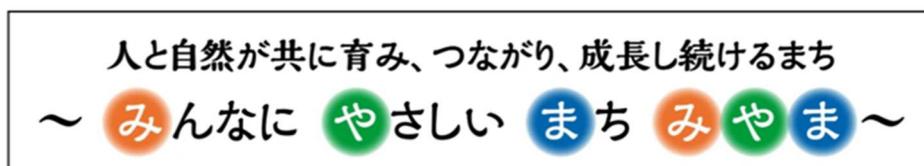


7. ビジョンとコンセプト

(ア) ビジョン

総合計画で定める市の将来像の実現を加速するため、地域一体となってDXに取り組みます。あらゆる分野においてデジタルを活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造を目指します。

<総合計画で定める本市の将来像>



将来像① 人と自然が共に育み続けるまち

みやま市の主役である「人」と、みやま市の特徴である清水山をはじめとした山々や有明海に注ぐ矢部川などの豊かな「自然」と共に育んでいくことで、将来の世代の暮らしが輝くような持続可能なまちづくりを目指します。

将来像② 人と地域がつながり続けるまち

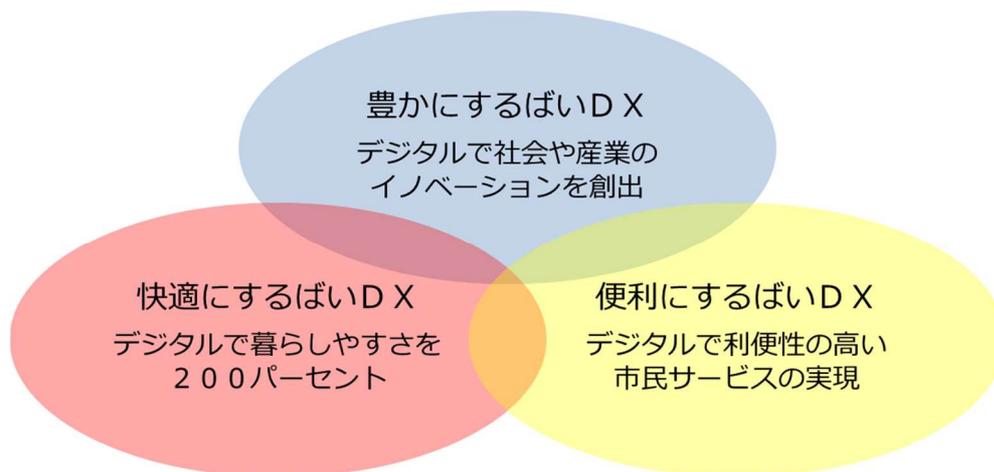
みやま市には、これまで受け継がれてきた歴史やすばらしい伝統文化があります。これらを継承するとともに、「人」と「人」とのつながり、「人」と「地域」のつながりを大切にし、新たなつながりを創出することで、子どもから高齢者まで、みんながやすらげる、笑顔あふれるまちづくりを目指します。

将来像③ 人とまちが成長し続けるまち

平成19年の合併によりみやま市が誕生してから10年以上が経過しています。こうした中で、「人」を核として、さまざまな地域課題の解決や、本市の発展に向けた新たな挑戦を行っていくことで、豊かな人材の育成や産業の発展など、市が一丸となって成長し続けるまちづくりを目指します。

(イ) コンセプト

ビジョンの実現に向け、「豊か」「快適」「便利」の3つの柱でDXを推進します。



- ① 豊かにするばいDX～デジタルで社会や産業のイノベーションを創出～
自然や農業、自然エネルギーなど本市の特色とデジタルを組み合わせ、地域経済の更なる活性化を図ります。農業ではロボットやAIを活用、商工業では業務プロセスのデジタル化、観光業ではデジタルを活用したプロモーションにより、みやま市全体の知名度向上と品質及び生産性の向上を図ります。文化・芸術の振興では、伝統文化や郷土の歴史の保護・継承へデジタルを活用します。イベントのライブ中継やデジタル歴史資料館の開設など、市内外へPRし、さまざまな世代間や地域間の交流を促進します。
- ② 快適にするばいDX ～デジタルで暮らしやすさを200パーセント～
自然との調和を図りながら、安全・安心なまちづくりを進めます。公共交通の整備や災害発生時の市民への情報共有、健康づくりなどにデジタルを活用し、誰もが住みやすく安全・安心なまちづくりの推進を図ります。
- ③ 便利にするばいDX ～デジタルで利便性の高い市民サービスの実現～
多様化する市民ニーズに対し、デジタル化の視点を取り入れた新たな市民サービスを目指します。デジタル技術の活用により、効率的な行財政の運営を推進し、変化する社会情勢に柔軟に適應していくことのできる自治体経営を進めます。

8. 主な施策

DX 推進の施策を記載します。

(ア) 豊かにするばいDX

総合計画 基本方針	施策概要
地域の特色を生かした活力あるまちづくり	スマート農業
	商工業のデジタル化支援
	デジタルを活用した観光資源の魅力発信
豊かなこころを育むまちづくり	教育環境のデジタル化
	市立図書館のデジタル化
	デジタルを活用した文化の継承



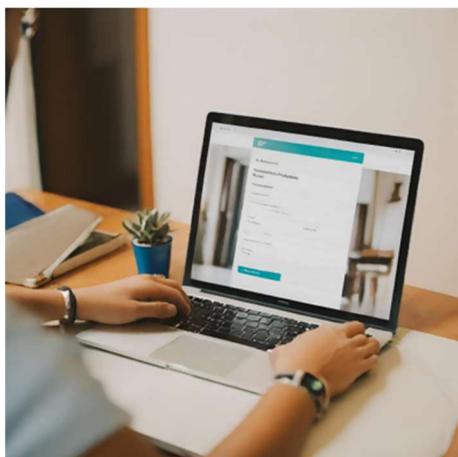
(イ) 快適にするばいDX

総合計画 基本方針	施策概要
自然を育む安全安心なまちづくり	脱炭素社会の推進
	防災の強靱化
	警防、救急救命の強靱化
魅力あふれる住みやすいまちづくり	ニーズにあった公共交通の推進
	都市基盤の維持にデジタル活用
健やかに暮らせる福祉のまちづくり	デジタルデバインド対策
	福祉／介護サービスと医療の充実
	eスポーツの活用



(ウ) 便利にするばいDX

総合計画 基本方針	施策概要
健全で効率的な 行財政運営	窓口改革(書かない、待たない、行かない)
	早くて分かりやすく正確に届く情報発信
	マイナンバーカードの活用
	デジタル技術のフル活用による業務の高品質化
	情報システムの標準化・共通化
	持続可能な DX 推進体制の構築
	セキュリティ対策の徹底
	行政のキャッシュレス推進



9. 取組内容

(ア) 豊かにするばいDX

① 地域の特色を生かした活力あるまちづくり

取組① スマート農業

<目指す姿>

- | |
|---------------------------|
| ✓ 生産量及び質が向上し、魅力ある産業となっている |
| ✓ 後継者不足が解消され、産業の継続が見込まれる |

<背景や課題>

本市の主要産業である農業において、就業人口は減少しており、高齢化が進んでいます。

<関連する計画等>

福岡県農林水産振興基本計画(令和4年3月)

<取組内容>

生産性や品質向上、作業の効率化のため、デジタル技術を活用したDX 機械の導入を支援します。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
DX 機械の導入支援 (水田農業 DX 事業／園芸農業 DX 事業など)			

取組② 商工業のデジタル化支援

<目指す姿>

- ✓ 地域経済が活性化している
- ✓ デジタルを活用する事業者が増え、事業の付加価値が増加している(効率化/顧客体験の向上/データ活用など)

<背景や課題>

高齢化が進み、商工事業の後継者が不足し、担い手が減少しています。また、原材料費や人件費の高騰化などコスト高による利益の圧迫が懸念されています。デジタル技術の導入による効率化やコスト削減を検討するなど、意識の向上が必要です。

<取組内容>

事業者が各々効率化を目指し、積極的にデジタル技術の導入に取り組むことができるよう、国や県からのデジタル技術の導入に対する補助事業などを周知するとともに連携を図ります。

地域経済の活性化のため、デジタル地域通貨を発行し、市内での消費促進を図ります。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国県の補助事業の周知 (技術の紹介/補助事業の案内など)			
地域通貨の発行と 通貨の地域内循環の推進			

取組③ デジタルを活用した観光資源の魅力発信

<目指す姿>

- ✓ みやまファンが増え、知名度が向上している
- ✓ みやまブランドが確立されている
- ✓ 郷土愛が醸成され、市への愛着を抱く

<背景や課題>

自然に恵まれ、観光地や文化財などさまざまな観光資源を持ちながら、市外に広く認知されていないため、知名度を高める必要があります。

<関連する計画等>

第2期みやま市シティプロモーション戦略(令和5年7月)

<取組内容>

広くみやま市を認識してもらうため、観光資源や伝統芸能を題材にメタバースやドローンなどデジタル技術を活用した魅力発信事業を実施します。令和5年度には、市の伝統芸能である新開能と幸若舞の魅力をメタバースで発信し、市内外の多くの人に歴史や奉納を知っていただくイベントを実施しています。今後も、取組が継続して推進できるよう、計画的なイベントの実施や人材の育成を行います。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
デジタルを活用したイベントの実施 (観光地／文化財など)			
人材育成 (コンテンツ作成／機材の操作など)			

② 豊かなこころを育むまちづくり

取組④ 教育環境のデジタル化

<目指す姿>

- | |
|------------------------------------|
| ✓ 学力が向上している
✓ 多様な学校教育環境が提供されている |
|------------------------------------|

<背景や課題>

児童生徒の多様化に合わせ、誰一人取り残すことのない教育環境と、デジタル社会を生きていくための ICT 教育が求められています。

<関連する計画等>

GIGA スクール構想(文部科学省:令和元年 2 月)

<取組内容>

教師・児童・生徒の力を最大限に引き出すため、デジタルを活用した学習支援の拡充と校務の効率化を図り、より児童生徒の指導に集中できる環境を目指します。

また、現在実施している交流事業において、メタバースによる交流体験など、新たな手法を取り入れながら、児童・生徒の体験学習及び交流事業の充実を目指します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
ICT 推進教員による職員研修／教育研究所による ICT 研修 (ICT 活用スキルの向上)			
校務の効率化 (校務支援システムの充実／活用)			
デジタルを活用した学習支援の拡充			
デジタルを活用した体験学習及び交流事業の充実			

取組⑤ 市立図書館のデジタル化

<目指す姿>

- | |
|---|
| ✓いつでもどこでも本を読める環境が整備され情報・知識を得ることができる |
| ✓図書館資料による情報だけでなく、様々な情報を広く収集し学習や仕事、暮らしに活用できる |

<背景や課題>

来館が難しい人でも利用しやすく、設備が充実した図書館が求められています。

<関連する計画等>

みやま市教育大綱(改訂版)(令和元年12月)

<取組内容>

いつでもどこでも本を読むことができるよう、電子図書館の利用拡大を推進します。また、館内での学習・仕事の充実を図るための環境整備を行います。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
電子図書館の利用拡大 (SNS活用／ホームページ改善／手続簡素化)			
館内学習環境の充実			

取組⑥ デジタルを活用した文化の継承

<目指す姿>

- | |
|--|
| ✓ 地域に残っている様々なコンテンツの価値とデジタルを融合し、配信されている |
| ✓ 100年後も無形文化遺産や伝統産業が継承されている |

<背景や課題>

幸若舞などの国指定重要無形文化財をはじめ、みやま市には多くの文化財があります。地域の歴史や文化を知る上で重要なものであり、後世に伝えていく必要があるものの、スペース等の不足により公開されていないものが多く、直接触れる機会が少なくなっています。

<関連する計画等>

みやま市教育大綱(改訂版)(令和元年12月)

<取組内容>

来館しなくとも見ることが可能なデジタル資料館を開設し、現在公開されていない文化財等を公開します。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	デジタル資料館の準備と開設 (伝統文化／遺産／芸術など)		

(イ) 快適にするばいDX

① 自然を育む安全安心なまちづくり

取組① 脱炭素社会の推進

<目指す姿>

- ✓ 未来へつながる持続可能なまちとなっている
- ✓ 「ゼロカーボンシティみやま」が実現されている

<背景や課題>

地球温暖化などの気候変動問題は年々深刻化し、既に多くの形でその影響は顕在化しています。地球環境への負荷が少ない循環型社会を構築するには、一人一人の環境問題への意識を高めていく必要があります。

<関連する計画等>

みやま市資源循環のまち宣言(令和2年9月)

「ゼロカーボンシティみやま」宣言(令和3年8月)

第2次みやま市地球温暖化対策実行計画(令和4年3月)

<取組内容>

ごみの削減(資源化)のため、ホームページやLINEで提供しているごみ検索機能の精度を向上するとともに、ごみ分別に関する説明会を、いつでも、どこからでも繰り返し確認できるように、説明会の内容を動画で配信します。環境に関する各種情報は、市のホームページで分かりやすく発信し、市民一人一人の省エネ意識を高めます。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	ごみ検索機能の精度向上 (検索の使いやすさや網羅性の向上など)		
	ゼロカーボンの実現に向けたデジタルを活用した施策(ホームページの改善など)		

取組② 防災の強靱化

<目指す姿>

- ✓ 災害時の被害を最小化し、被害の少ないまちとなっている
- ✓ 住民一人一人が自ら防災に取り組み、助け合うまちとなっている

<背景や課題>

これまでに経験のない気象災害が頻発するなど、気象変動等により気象予測が困難となっており、防災意識がより高まっています。

<関連する計画等>

- みやま市強靱化地域計画(令和3年3月)
- みやま市地域防災計画(改訂版)(令和5年6月)

<取組内容>

災害情報集約システムにより、素早い情報提供を行い、消防団出動の迅速化や被害の拡大を防ぎます。市民向けの防災講座をデジタル化(映像配信など)し、いつでも、どこからでも繰り返し確認できる環境を整備し、防災への意識を普及啓発します。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
みやま市災害情報集約システムの活用 (災害情報リアルタイム発信/近隣自治体連携/災害対策情報共有など)			
講座内容のオンライン配信			

取組③ 警防、救急救命の強靱化

<目指す姿>

- ✓ 救急事故予防に取り組み、救急出動件数が減少している
- ✓ 住民一人一人が自ら火災予防などに取り組んでいる

<背景や課題>

高齢化に伴う救急出動が増加すると同時に、傷病者情報の取得が困難な事案や現場滞在時間延伸の事案が増えています。

<関連する計画等>

消防白書(消防庁)

救急業務のあり方に関する検討会(消防庁)

<取組内容>

迅速・円滑な救急業務を目指します。市民向けの各講習をデジタル媒体(オンライン講習、eラーニングなど)でも受講可能とします。救命処置や消防訓練をリアルに体験することが可能なVRやARを活用し、応急手当や防火防災教育等の普及啓発を行います。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	講習や教育のデジタル化 (オンライン講習/eラーニング/VR/ARなど)		
	消防団運営の効率化 (出動指令/活動報告/集計など)		

② 魅力あふれる住みやすいまちづくり
取組④ ニーズにあった公共交通の推進

<目指す姿>

- | |
|--|
| ✓ 利用者のニーズに合った公共交通が整備されている
✓ 目的地へ効率良く移動できる |
|--|

<背景や課題>

現行のコミュニティバスは、広域移動手段(鉄道・路線バス等)との乗り継ぎが十分ではない、観光イベントや地域行事等との連動が困難である、などの理由で利用者数が少なく、住民のニーズに十分に対応できていません。

<関連する計画等>

みやま市地域公共交通計画(令和5年6月)

<取組内容>

コミュニティバスの運行体制見直しを行うとともに、AI オンデマンド運行など新たな移動サービスを検討します。また、MaaS などデジタルを活用したサービスの可能性を検証し、利便性の向上を図ります。合わせて、コミュニティバス等の利用促進のため、SNS 等を活用しイベントと連動した取組などを検討します。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
デジタルを活用した公共交通の見直し (MaaS/デマンド交通など)			

取組⑤ 都市基盤の維持にデジタル活用

<目指す姿>

✓ 道路・河川、水道など安定した都市基盤が維持されている

<背景や課題>

水道管の老朽化に伴い、漏水による有収率の低下が懸念されます。また、道路や水路の維持にあたり、老朽化への対応を必要とする箇所が増加しています。

<関連する計画等>

みやま市公共施設等総合管理計画(第2版)

<取組内容>

監視型の漏水調査や、ドローンによる老朽箇所の撮影など、デジタル技術により効率的な基盤維持に取り組みます。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
デジタルを活用した都市基盤の維持 (モニタリング／画像解析／ドローンなど)			

③ 健やかに暮らせる福祉のまちづくり

取組⑥ デジタルデバインド対策

<目指す姿>

✓ デジタルが苦手な人であってもデジタル化のメリットを感じられる

<背景や課題>

デジタル分野の発展はめざましく、次々に新しい技術が生活の一部と
なっています。その一方で、活用できずにサービスの範囲が狭めら
れている人も見受けられます。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

デジタルを活用した施策の実施にあたっては、誰でもサービスを受け
られるよう、丁寧なサポートを行います。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	問い合わせ対応、機器等の操作説明会など		

取組⑦ 福祉／介護サービスと医療の充実

<目指す姿>

- ✓ 市民一人ひとりが健康で心豊かに活力を持って過ごすことができる
- ✓ 多様な福祉／介護サービスと医療を受けられる
- ✓ 一元管理された福祉／介護サービスと医療を受けられる

<背景や課題>

福祉や介護サービス、医療に関するデータが、それぞれに保有されており、全体を把握することが難しく、適したサービスの提供が困難もしくは時間がかかることがあります。

<関連する計画等>

医療 DX(全国医療情報プラットフォーム)の推進(厚生労働省)

<取組内容>

国が進める全国医療情報プラットフォームと連携することで、レセプト・特定健診情報に加え、予防接種、電子処方箋情報、電子カルテ等の医療情報を自治体や介護事業者等間で共有することができます。市民全体の健康情報を把握・分析し、市民の健康づくりに関する的確な取組を立案します。また、医療機関や介護事業者、自治体等が医療や福祉に関する情報を一元管理し、共有することで、各種認定や資格付与に要する時間の短縮と、的確な福祉／介護サービスの提供を目指します。さらに、緊急搬送時に医療・介護の情報共有が可能になる福岡県医師会診療報酬情報ネットワーク「とびうめネット」への加入促進を図り、市民への安心な暮らしの提供を目指します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	全国医療情報プラットフォームと連携した福祉／介護／医療に関するデータの一元化と活用		
	とびうめネットの加入促進		

取組⑧ e スポーツの活用

<目指す姿>

- | |
|--|
| ✓ 市民一人ひとりが健康で心豊かに活力を持って過ごすことができる
✓ 世代を超えた交流が活発に行われている |
|--|

<背景や課題>

インターネットを介し、スポーツや介護予防の分野においても、多様な活動が可能となってきています。自宅に引きこもりがちな高齢者や体が不自由な方においては、スポーツへの参加が難しい場合があります。また、地域コミュニティの希薄化も進んでいます。

<取組内容>

市民一人ひとりが、笑顔で生き生きと活動できるように、e スポーツを活用します。e スポーツイベントを開催し、市民のスポーツに対する意識の醸成、世代を超えた交流によるコミュニティの活性化、健康維持・促進、デジタルへの抵抗感の解消を目指します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
e スポーツイベントの開催と拡充			

(ウ) 便利にするばい DX

① 健全で効率的な行財政運営

取組① 窓口改革(書かない、待たない、行かない)

<目指す姿>

- ✓ 利用しやすい窓口となっている
- ✓ 同じ情報を何度も求めず、窓口での待ち時間が少ない
- ✓ 来庁しなくても手続きができる

<背景や課題>

市役所では転入・転出、出生や死亡などライフイベントに沿ったさまざまな届け出や手続きを受け付けています。各課で受付を行うため、庁舎内の移動に時間がかかり、手続きごとに申請用紙に住所や氏名などの記入が必要であることが多いため、市民の負担となっています。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

1 箇所で手続きができる総合窓口の開設を目指し、手続きにかかる時間と申請用紙の記入に伴う負担を少なくします。また、来庁せずにオンラインで手続きができる環境を整えます。公共施設の予約や使用料の決済についても同様に取り組みます。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
ライフイベントに沿った総合窓口の開設 (お悔みワンストップ/引越ワンストップなど)			
手続のオンライン申請 (転出入予約/子ども子育て/介護/消防関連など)			
	公共施設予約のオンライン申請の拡充 (施設予約など)		

取組② 早く分かりやすく正確に届く情報発信

<目指す姿>

- ✓ 市民が探したい情報やその関連情報へスムーズに到達できる
- ✓ 冊子等は、紙媒体とデジタル媒体を併用しいつでも必要な情報を参照できる環境となっている

<背景や課題>

広報誌など紙媒体のみでの情報共有は、配る手間や、内容を確認したい際に手元にない場合があります。また、市民の生活に必要な情報が、市ホームページに掲載されていない、もしくは、ホームページの中の情報にたどり着けずに手続きができないなどの課題があります。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

市から発信する情報は、わかりやすく、いつでも確認することが可能となるよう改善します。ホームページ上で、市民が迷うことなく情報の確認ができるよう、構成や内容を見直します。また、制度の変更や防災、注意喚起などの生活に関わる情報は、ホームページや SNS で分かりやすく発信します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
ホームページ、LINE、SNS の活用 (マニュアルやルールの改善/SNS 運用ポリシーの見直しなど)			
探しやすく、見やすく、分かりやすい ホームページづくり (コンテンツの構成の見直しなど)			

取組③ マイナンバーカードの活用

<目指す姿>

✓ マイナンバーカードの利用用途が多岐にわたり、ほぼすべての市民がマイナンバーカードを保持している

<背景や課題>

マイナポイント事業等によりカードの取得者は増加したものの、マイナンバーカードを利用する機会が少ない、取得するメリットが少ないという声もあり、取得していない・取得する予定もないという声も一定数聞かれます。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

マイナンバーカードの本人確認機能を活用したオンライン申請の拡大や、マイナンバーカードを市民サービスに活用し、利便性を向上する施策を検討します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
証明書のコンビニ交付の拡充 (住民票/戸籍関連等の取得)			
オンライン申請の本人確認(デジタル署名)に利用 (引越ワンストップ/介護・子ども・罹災証明の申請等)			
市民サービスへの利用 (避難所受付やポイントカード利用等、 先進事例の調査と実証)			

取組④ デジタル技術のフル活用による業務の高品質化

<目指す姿>

- ✓ 市民からの相談業務や企画の立案など人が担う領域が明確になっている
- ✓ 機械的で繰り返し実施する事務はデジタル技術を利用して効率化されている

<背景や課題>

新型コロナウイルス感染症や災害への対応、物価高騰対策などの非常業務が増加し、住民サービスの多様化やニーズも高まってきています。膨大な事務作業の過程においては、手作業を起因とするミスリスクも潜在しています。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

膨大な量の作業や定型的な事務作業をデジタル技術で処理することにより、業務の効率化と精度の向上を図ります。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
AI の活用 (LINE チャットボット/議事録作成/AI-OCR/生成 AI など)			
RPA(自動化ツール)の活用			
文書管理システムの導入と活用 電子決裁の検討			

取組⑤ 情報システムの標準化・共通化

<目指す姿>

✓ 安定かつ持続可能な市民サービスを提供している

<背景や課題>

自治体で使用する情報システムは、自治体ごとに開発元が異なるシステムを使用し、業務の流れに沿ったカスタマイズをしているため、維持管理のコストが増大しています。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、標準化対象業務(20 業務)の情報システムについて、令和7年度(2025 年度)を目途に標準準拠システムへ移行します。移行後は、標準準拠システム間で可能となるデータ連携を活用し、業務の効率化を目指します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
現状分析と適用準備			
		標準化・共通化の適用と活用	

取組⑥ 持続可能な DX 推進体制の構築

<目指す姿>

- | |
|--------------------------------|
| ✓ 職員がデジタルを活用し、最適な市民サービスを提供している |
| ✓ 継続可能な DX を推進し、施策を実現している |

<背景や課題>

デジタル技術を活用するためのスキルが職員に浸透していないことに加え、次々と開発される新技術を把握できず、業務への活用がなされていません。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

デジタル技術を活用できる人材の確保および育成を行い、計画的な取組の推進が可能な体制を整備します。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	外部人材の活用 (県支援/民間協定)		
		デジタル人材育成計画の策定と実施 (育成方針/推進体制/スケジュールなど)	
		先進事例の調査 (セミナーへの参加)	

取組⑦ セキュリティ対策の徹底

<目指す姿>

- ✓ 個人情報 は 厳密に 守られ 安心・安全な 環境が 維持 されている
- ✓ 職員 一人一人が セキュリティ 規程に 則った 行動を 行っている
- ✓ 定期的 な リスク 分析を 行い、 新たに 発見 された セキュリティ リスクに 対処 できている

<背景や課題>

デジタル化により、取り扱う個人情報の各サービスとの連携が進んでいます。より一層のセキュリティリスクへの対策が求められます。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和5年11月)

<取組内容>

リスクを分析し、技術的と組織的な側面から、重要な情報を守ります。

令和5年度まで	令和6年度	令和7年度	令和8年度
技術的セキュリティ対策の実施 (ウイルス対策、不正アクセス監視など)			
組織的セキュリティ対策の実施 (セキュリティ研修の実施とルールの厳守)			
PIA(特定個人情報保護評価)と外部監査人によるリスク評価			

取組⑧ 行政のキャッシュレス推進

<目指す姿>

- ✓ 証明書の発行や市施設の利用料など、キャッシュレス決済で非接触による支払いが可能となっている
- ✓ 全ての収納はシステム化されており、効率的かつお金の流れの透明化がされている

<背景や課題>

キャッシュレス決済が浸透し、行政の各支払においても住民ニーズが高まっています。感染症対策としての取組や金銭管理の煩雑さの解消など、業務効率化も期待されます。

<関連する計画等>

自治体 DX 推進計画(改訂版)(総務省:令和 5 年 11 月)

<取組内容>

市役所窓口や公共施設における支払について、キャッシュレス決済を推進し、多様な支払手段のニーズに対応します。また、公共施設の予約から利用料の支払までをオンライン化することで、利用者の来庁を不要とします。

令和 5 年度まで	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
窓口手数料や利用料などにキャッシュレス決済の導入			
	キャッシュレス決済の拡大検討		

10. KPI

本計画の期間である令和6年度から令和8年度の3年間におけるKPIは以下の通りです。

指標名	指標値
デジタル技術導入補助事業を利活用した件数	18 件
デジタルを活用し魅力や文化を発信する資料館開設件数 補足:現在公開されていない文化財/与田準一記念館	2 件
デジタルを活用し魅力や文化を発信するイベント件数/コンテンツ件数	8 件
電子図書館の図書貸出冊数	4000 冊
マイナンバーカードを利用した市の取組数	4 件
デジタルデバインド対策に係る説明会の件数	5 件
総合窓口で対応するライフイベント数	4 イベント
市役所窓口で年間100件以上受け付けている手続きのオンライン化 補足:対象の手続きは計53手続きで、市役所窓口が受け付けている全手続きの90%(約2万6千件)(R4実績)	40 手続
オンライン予約が可能な公共施設の割合 補足:対象施設は高田濃施山公園/総合市民センターなど計17施設	100%
キャッシュレスで利用料が支払える公共施設の割合 補足:対象施設は、同上(計17施設)	100%
AIで効率化した事務数	10 件
自動化ツールで効率化した事務数	30 件
ホームページやLINE、SNSを活用するための勉強会	10 回
DX推進のための勉強会開催数/外部セミナー参加数	15 回
セキュリティ事故件数	0 件

付録

用語集

用語	説明
5G	第5世代移動通信システム。1～4Gに続く、携帯電話などに用いられる高速データ通信を実現する移動体通信の規格のこと。読み方：ファイブジー
AI	Artificial Intelligence(アーティフィシャルインテリジェンス)の略で、人工知能のこと。読み方：エーアイ
AI-OCR	AI(人工知能)を用いることで、飛躍的に精度向上した文字認識(OCR)のこと。読み方：エーアイオーシーアール
AR	Augmented Reality(オーグメンテッドリアリティ)の略。拡張現実と呼ばれるもので、コンピュータを使って、現実の風景の中に情報を重ねて表示する。読み方：エーアール
DX	Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略。情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることを意味する。読み方：ディーエックス※英語圏では「Transformation」の「Trans」の部分「X」と略することが一般的であるため、「DT」ではなく「DX」と略されている。
DX 機械(農林水産業の分野)	無人でほ場内を自動走行するトラクターや、リモコンで遠隔操作する草刈機、農薬・肥料用のタンクやノズルを搭載したドローンなどの機械のこと。
e スポーツ	e-スポーツ(electric sports:エレクトロニック・スポーツ)の略。コンピュータやゲーム機器を用いて行う競技やスポーツ全般のこと。ネットワークを開始し遠隔間で競技の実施も可能。読み方：イースポーツ
e ラーニング	スマートフォンやPCを使用し、インターネット上で受講可能な教育・学習形態のこと。読み方：イーラーニング

用語	説明
GPS	Global Positioning System(グローバルポジショニングシステム)の略。人工衛星から送られてくる情報を元に度と経度を計算して、現在いる場所を割り出すシステム。
ICT	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションズテクノロジー／情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。読み方:アイシーティー
IOT	Internet of Things(インターネットオブシングス)の略。モノのインターネット。様々な機器やデバイス、センサーなどのあらゆるものがインターネットに接続され、通信可能であること。読み方:アイオーティー
KPI	Key Performance Indicator(キーパフォーマンスインディケーター)の略。事業の目標達成状況を管理するための定量的な指標のこと。取組推進の過程においては、目標と現状を比較することで、事業の進捗状況を把握することに利用します。日本語では「重要業績評価指標」という。読み方:ケーピーアイ
MaaS	Mobility as a Service(モビリティアズアサービス)の略。バス、鉄道など複数の交通手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済を行うことができる取組や仕組みのこと。読み方:マース
RPA	Robotic Process Automation(ロボティックプロセスオートメーション)の略。これまで人間が対応していた作業を、人間に代わってロボットで実施する取組や仕組みのこと。読み方:アールピーエー
VR	VR(Virtual Reality:バーチャルリアリティ)の略。仮想現実と呼ばれるもので、コンピュータ上の人工的な空間を作り、その場にいるような体感が可能。読み方:ブイアール
イノベーション	新しい技術の発明や新しいアイデアなどから、新しい価値を創造すること。

用語	説明
オンライン講習	講習会を開催する場所に直接集合することなく、スマートフォンやPCでインターネットを介し、どこからでも参加が可能な講習のこと。
オンライン申請	受付時間や場所などの制限がなく、スマートフォンやPCから、必要な手続きがインターネットを介して行うことができる申請方法のこと。
キャッシュレス決済	お札や小銭などの現金を使用せずにお金を払うこと。クレジットカード、電子マネー、デビットカード、スマートフォンやインターネットを介した決済のこと。
災害情報集約システム	災害に伴う人的・物的損害の軽減を目的とした情報システムのこと。
生成AI	データのパターンや関係を学習し、さまざまなコンテンツを生成するAIのこと。文章、画像、音声、音楽、動画などが生成できる。
全国医療情報プラットフォーム	レセプト・特定健診情報に加え、予防接種、電子処方箋情報、電子カルテなど、医療機関等から発生する医療情報(介護含む)について、クラウド間の連携により、自治体や介護事業者等間を含め、情報を共有・交換できる全国的なプラットフォームのこと。
デジタル・トランスフォーメーション(DX)	Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略。情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることを意味する。読み方:ディーエックス※英語圏では「Transformation」の「Trans」の部分で「X」と略すことが一般的であるため、「DT」ではなく「DX」と略されている。
デジタルデバイド	ICT技術を使うことができる人と、そうでない人との間で生じる、地域的・身体的・社会的な格差や、それにともなう社会問題。
ドローン	飛行機やヘリコプターなどのうち、人が乗ることができず遠隔操作などにより飛行させるもの。